

令和元年 11月 22日

おはようございます。

本日から、令和元年12月湖西市議会 定例会が開催されるにあたり、ごあいさつを申し上げます。

10月には、台風や豪雨などの災害が続きました。ここ湖西市においては、人命に関わるような大きな被害はありませんでした。しかしながら、静岡県内でも伊豆地方では河川の氾濫、停電や断水が発生し、千葉県や東北地方など、日本全体で見れば各地で大きな被害が出ております。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧を願う次第であります。

今回の災害では、全国の各地において、避難場所のプライバシー確保や、受け入れ体制など、避難場所の運営に関する問題が生じており、湖西市においても同様な課題が考えられるところです。また、台風ではありませんが、南海トラフ地震臨時情報が発表された際の事前避難対応など、新たな課題も浮かんできています。いずれも人命を最優先としつつ、すべてを一気にということはできなくとも、万一の事態に備え、平時から地域の方々の様々なニーズにお応えできるような仕組みづくりを進めてまいりたいと考えています。

(豊田佐吉翁顕彰祭)

豊田佐吉翁の命日である10月30日には、秋晴れの下、第56回豊田佐吉翁顕彰祭を、鷺津中学校で開催させていただきました。豊田章男社長ご夫妻はじめ豊田家の皆様、鈴木修会長や市議はじめ多くのご来賓の皆様にご列席をいただき、誠にありがとうございました。ご挨拶の中にもありました、「何が正解かわからない時代、失敗をおそれず、まずやってみる。たくさん挑戦し、工夫を重ねる」といった、常に時流に先んじる佐吉翁のチャレンジ精神を、私たちも引き継いでいかなければならないと、決意を新たにしたところです。

(豚コレラ)

次に、安全・安心の観点からの、豚コレラ(CSF)の防疫対策であります。湖西市内では静岡県内第1位である約2万7千頭の豚を飼育しており、湖西市でも11月5日から各豚舎において豚へのワクチン接種を行い、13日には対象

となる全ての豚、約2万3千頭への接種を完了いたしました。昨日、11月21日までの時点で静岡県内においては、野生イノシシ13頭の陽性反応が確認されています。一昨日の西部地域サミットの間においても、今後のワクチン接種や、引き続き消毒の徹底、野生イノシシの侵入防止策などの防疫対策につき、県などによる財政支援措置をお願い申し上げたところです。何よりも、一日も早い終息により、皆様がおいしい豚肉を引き続き安心して味わえるとともに、今般、取組を強化した臭気対策と合わせ、畜産振興と定住促進を、並行して進めてまいります。

#### （市民臭気モニター）

次に、市民臭気モニターについてです。今月、11月1日から、市内全域におきまして、公募などによる個人や会社、14者の皆さんによる市民臭気モニター制度を開始いたしました。内容としては、1日3回、自宅や職場で臭気を調査し、臭いを感じたときは、調査の時刻や天候、風向き、風の強さ、臭気の種類や臭いの強さを報告いただくものでございます。得られたデータを基に、従来からの市職員のモニタリングなどと併せ、臭気の拡散状況やその時の気象条件、時間帯を把握し、豚舎密閉化の改善や臭気指数の見直し等、今後の臭気対策、定住促進に、有効に活用してまいります。

#### （公共交通の利便性向上）

続きまして、子どもたちからお年寄りまで、すべての世代にとって重要となる公共交通の利便性向上に関し、車を運転しなくても、通院や買い物が便利にできるという、次世代型の公共交通も必要になってこようかと思えます。デマンド型の乗合タクシーにつき、従来からの白須賀地区で利用率も向上していることから、11月1日から、北部地区においても、デマンド型乗合タクシーの実証実験を開始いたしました。今後、本格運行により市内全域に拡大すべく、乗合い率向上のインセンティブなど、実証実験により改善を図っていきたいと考えています。

また20日には、「モネ・テクノロジーズ株式会社」との連携による、企業シャトルバスと公共交通のコラボレーションについて、企業の皆様と具体的な意見交換を始めさせていただきました。来年度から実証実験を始められたらと思っておりますが、企業や行政など多数の関係機関が連携した取組を進めることで、次世代型の公共交通を構築し、例えば運転免許を返納しても、安心して病

院や買い物に行けるよう、移動等の利便性を向上していきたいと考えています。

#### (地域医療)

次に、地域医療につきましては、湖西病院において、10月から新たな外科のドクターを増員することができました。更に、まだ構想段階ではありますが、市内での出産が可能となるよう、新たな取組みを進めていきます。

そんな中、9月に厚生労働省から地域医療構想の発表がありましたが、そこには現在、湖西病院が新たに取組み始めた、地域包括ケア病床や診療科目の見直しなどの取組が、全く反映されておりません。湖西病院の統合・再編は現時点で全く予定しておりませんし、何よりも、市民の皆様が安心して医療を受けられることを第一に、開業医から、より高度な急性期病院まで、他の医療機関とも連携を深め、病院事業管理者や経営戦略監といった経営のプロ、また病院職員の皆様とも意見交換を重ねながら、急性期から回復期医療など、地域のニーズに合った形態に転換しつつ、同時に経営の改善を図っていく所存です。

#### (新所原駅デジタルサイネージ)

続いて、観光・シティプロモーションに関し、年間130万人を超える新所原駅の利用者の皆様に向け、湖西市の魅力や各種イベントの情報発信することを目的に、11月12日から「デジタルサイネージ(電子看板)」の運用を開始しました。「デジタルサイネージ」は2基あり、動画、静止画の配信をさせていただいております。毎月2回、データを更新する予定でありますので、今後は市役所外からもコンテンツを募集し、市外・県外からの通勤者や来訪者に対し、湖西市のさらなる魅力発信、知名度の向上、定住促進に努めてまいりたいと考えております。

#### (職住近接・総合計画)

令和3年度からスタートする、第6次湖西市総合計画の策定に向けて、各界の有識者の方々に委員にご就任いただき、11月11日に第1回目の審議会を開催いたしました。大学生から市内企業、多文化共生のため外国にルーツのある方など、多彩な顔ぶれとなっております。来年の10月までに計6回開催する予定であり、「職住近接」をキーワードに人口減少を克服し、湖西市の持続可能な発展に向けての総合計画になるよう、具体的な道しるべとして、活発なご議論をいただきたいと思います。

年末を控え、来年度の予算編成も佳境に入っていきますが、先ほど申し上げました防災、公共交通、臭気対策、更には子育て支援・新たな奨学金の返還支援制度など、様々な政策において、全てが「職住近接」、湖西市に住んで・働いていただけるような、昼夜間人口の差の解消を目指して、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。市議の皆様方におかれましては、更なる市民生活の向上、市の持続可能な発展に繋げることができるような、建設的かつ前向きなご提案やご議論を深めていただければと思います。

今回の12月議会に提案させていただきます案件は、条例や補正予算など20件でございます。後ほど、提案理由説明をさせていただきますので、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます、私のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

(以 上)